

# 研究全体構想図

令和6年度三原市立沼田東小学校

学校教育目標  
夢や目標の達成に向け、ともに伸びる子供の育成

研究主題  
主体的に考え、深い学びを追究しようとする態度の育成  
～「問い」の探究、「対話」的な学びの場のある授業づくりを通して～

すべての子供が自ら考え行動する学び  
～子ども同士の学び合いの充実～

研究仮説  
全ての児童が自ら考え課題解決に向かいたいという必要感のある学びにするための「問い」や、児童が自他の考えの相違点を比較する「対話」を設定すれば、児童が主体的に課題を探究し、自己の価値観を高める深い学びができる授業を実現できるであろう。



## 指標1 確かな力が付いているか

- 児童アンケート「学校の授業はよく分かる」本項目のみの肯定的評価 95%以上
- 単元末テスト（国語、社会、算数、理科）85点以上 80%。
- 全国学力・学習状況調査  
・全国平均以上  
・40%未満児童の減少

## 指標2 児童の主体性を促す授業であるか

- 児童アンケート「授業では、課題解決のために最後まで考えている」「算数では、自分の考えをノートなどにしっかりと書くことができている」肯定的評価 80%以上
- 授業研事後検討アンケートの教師評価「『問い』の設定により、児童は最後まで考えていたか」肯定的評価 4段階中 3.5以上

## 指標3 深い学びを促す授業であるか

- 授業研事後検討アンケートの教師評価「『問い』の設定により、児童は最後まで考えていたか」「『対話』の場面において、児童は相手の意見によって価値の変容あるいは確立を図っていたか」肯定的評価 4段階中 3.5以上